

8-9

断酒に向けての取り組み

AA 方式のサポート

断酒

AA ミーティング

養護老人ホーム 大森老人ホーム

介護職 長瀬 敦史

大田区大森本町2-2-2

TEL : 03-3762-8851

E-mail Oomori_home@triton.ocn.ne.jp

FAX : 03-3762-8920

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

都立の養護老人ホームとして H9年2月に開設しましたが H16 年4月に自主
運営施設となりました。定員130名、全室個室のホームです。

〈取り組んだ課題〉

- アルコール依存症の方が人間らしい生き方をするきっかけ作りをして頂きます。
- アルコールの方だけに限らず依存傾向のある方も参加出来る環境作りをします。
- 活気のあるミーティングを目指します。

〈具体的な取り組み〉

- 都立板橋老人ホームの分散改築する事により AA ミーティングを続けてきた数人の方を大森老人ホームでも引き続きフォローアップとしてサポートしていきたいという事が始まりのきっかけでした。
- アルコール依存症の方のフォローアップ (AA 形式)
- 時間 週1回 (土曜日) 10時~11時30分
- 場所 ホーム内「面会室」
- 内容
 - ・形態は板橋老人ホームと同様 AA 形式で、ハンドブックの読み合わせ、「今日を新たに」の中でその日のテーマに沿って話しをする。
 - ・職員は進行役として参加する。
 - ・テーマに沿って参加者が自由に発言出来る。
- ミーティング上のきまり
 - ・ミーティングの決まりとしてその場で話しをした事は外部に洩らさない。又メモは基本的に取らない。
 - ・途中からの参加、途中退席でも気持ちよく受け入る。
 - ・飲んでいる方はミーティングに参加出来ない。
 - ・宗教とは全く無関係である。
 - ・他の方の発言に対して非難してはならない。

〈活動の成果と評価〉

- 板橋老人ホームから引き続き同じような形でミーティングを行った事で対象者の方が安心して参加されました。
- 初めは3名からの始まりであったが10年経過した現在ではアルコール対象者だけでなく自主的に参加してみようという方も増えてきました。
- 施設全体も前向きに行った。又職員の意識も高まり担当者に限らず他の職員も自主的に参加するようになりました。
- 週一の活動であるがその日が大変待ち遠しいと言う声も聞かれるほど活気が見られ活動自体も盛り上がりが見られるようになりました。
- ミーティングを継続している事でアルコールの方もスリッパする事なく現在に至って普通の生活をされています。
- 板橋老人ホームで進めてきた方が当施設でも協力して頂いた事で活発な活動が出来る要因の一つでもあります。

〈今後の課題〉

- AAミーティングを存続していくための担当職員以外の職員の協力と意識改革
- 今後、地域社会の AA ミーティングにどのように繋げるのか。
- ミーティング中はどうしても発言力のある方が常に為、参加者一人一人のニーズに合わせ、又一人一回は発言出来る環境を作っていく。